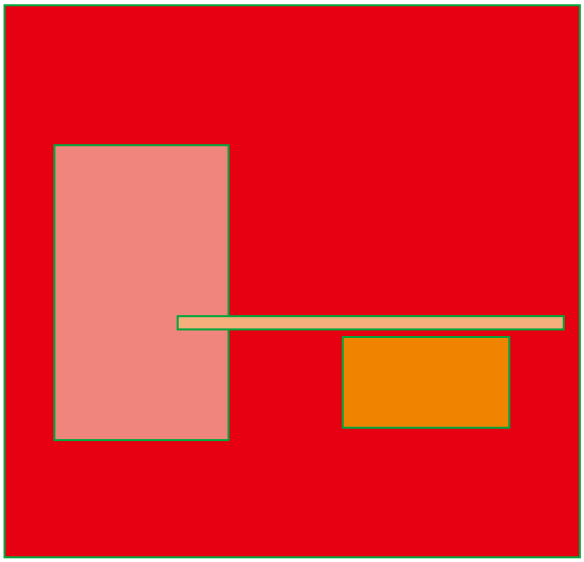
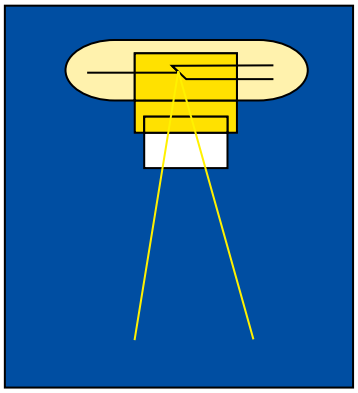
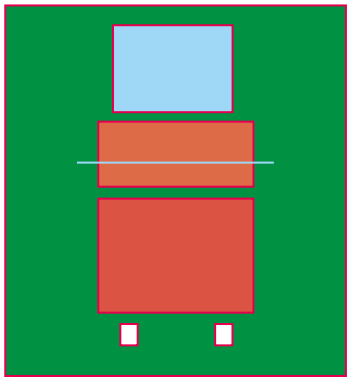
三重県放射線技師会誌

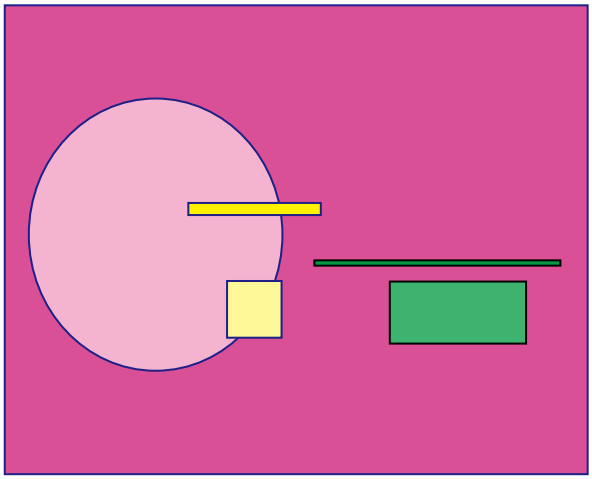
The journal of the Mie
Association of Radiological Technologists

web版









299号 2023.5 vol.73 No.3

一般社団法人 三重県診療放射線技師会

公益社団法人　日本診療放射線技師会

綱　　要

1．わたしたちは、医療を求める人びとに奉仕します。
We will render our services to those to need of health care.

1．わたしたちは、チーム医療の一員として行動します。
We will act as individual members of a health care team

1．わたしたちは、専門分野の責任をまっとうします。
We will perform our duties in our field of specialty.

1．わたしたちは、人びとの利益のために、常に学習します。
We will continue to study for the benefit of mankind.

1．わたしたちは、インフォームド・コンセントを尊重し、実践します。
We will respect and practice the policy of informed consent.

299号
Vol.73 No.3

CONTNETS

□ 巻頭言 4

□ お知らせ 7

「令和3年厚生労働省告示第 273 号研修(告示研修)」(三重県)

□ 活動報告 9

第70回 南勢地区消化管撮影技術研究会

第71回 南勢地区消化管撮影技術研究会

令和4年度 津・榊原地区研究会

□ 三重県診療放射線技師会活動報告 13

総務

学術

広報・編集

□ 議事録 17

第7回 理事会

第8回 理事会

□ 第73回 定時総会資料 26

□ 編集後記 42

一般社団法人　**三重県診療放射線技師会**

〒514-0032　津市中央2-4　三重ビル 502号
TEL/FAX (059)225-1491
H.P. : https://mieart.jp/
e-mail : contact@mieart.jp

郵便振替　00800-5-15152
銀　　行　百五銀行津駅前支店
普通預金口座番号　0203779

□　巻頭言

「二刀流 」

山田　剛
一般社団法人三重県診療放射線技師会　副会長

　平素は三重県診療放射線技師会の活動にご協力頂き、ありがとうございます。
皆様からのご支援を頂きながら今回で5回目の巻頭言を担当させて頂くことになりました。振り返ってみると、私が担当した巻頭言の1回目は技師会に対する想い、2回目以降は題名こそ違いますが、全てCovid-19に絡めた内容で書かせて頂きました。今回も題名こそ違いますが、先ずはCovid-19の話題について書かせて頂きます。2019年12月から中国の武漢から流行したCovid-19はあっという間に世界中をパンデミックに陥入れ、日本では「蜜」という言葉が多くの場面で用いられ、人が交流することが好ましくない様な状況が長く続きました。しかし、この様な状況も2023年5月8日にはCovid-19が2類から5類に引き下げられます。もちろん、引き下げられるからと言って、全てのことが以前の様に戻るまでにはまだ少し時間が必要とは思われますが、2023年度は我々日本人にとって、前向きに進むことができる忘れられない年になると思っています。この3年間で活用したZoomをはじめとしたWEBツールをうまく活用しながら、より一層の技師会活動を目指します。
　さてここからは題名通り「二刀流」の話題で進めていきます。
2023年3月に開催されたワールド・ベースボール・クラシック（WBC）では日本代表が大活躍し、実に3大会ぶりのWBC制覇を成

し遂げたのは皆様の記憶にも新しいものと思われます。私は普段スポーツ観戦を行うタイプではありませんが、このWBCやカタールで行われたサッカーのFIFA World Cup、そして2019年に日本で開催されたラグビーワールドカップといった世界のスポーツの祭典的なものは必ず見てしまう言わば、にわかファンです。特にWBCでは普段、全く興味を示さない家内が珍しく興味を持ち、家族で応援できたことも気持ちよく見ることができた要因の一つだと思っています。そんなWBCでは先にも言った様に日本代表が大活躍したわけですが、その中でも「二刀流」で出場し、MVPも獲得した大谷選手の活躍は目を見張るのがあったと思います。大リーグ機構（MLB）では昨年12月に1920年から1948年に行われたニグロリーグ（黒人リーグ）での成績を、MLBでの公式記録として加えることが発表（MLBでプレーが許されなかった黒人選手たちの記録がMLBの公式記録として加えることを発表）こそされましたが、野球界の歴史で、ここまでWBCやMLBで投手と打者の両方で実績を出した選手は数名しか存在せず、現役選手では今のところは世界で大谷選手一人だけです。投手が打者も兼ねて期待以上のことを実行するって素晴らしいと思います。

我々、診療放射線技師は今、医療の現場で医師の働き方改革の一環で、タスクシフト・シェアが推奨されており、医師、看護師その他メディカルスタッフとの業務分担が求められています。これってちょっと、二刀流を求められている様に感じませんか？先日、ある施設の方とお話しした際に、そのご施設では造影検査用のルート確保は診療放射技師の仕事に移行しているとのことでした。サーフローでのルート確保は抵抗を感じるのが一般的と思われますが、その方曰く、やり始める前に想像していたよりも、はるかにスムーズに実施できているとお聞きしました。数年前までは診療放射線技師がサーフローを使って血管確保が出来るなんて想像できませんでしたよね。これは本当に診療放射線技師の職域拡大のチャンスの他、

何者でもありません。診療放射線技師が造影検査時にルート確保を自ら行い、造影検査が実行できれば病院への貢献度は爆上がりになるのは容易に想像できます。実際、私がお話を伺ったご施設でもタスクシフト・シェアで診療放射線技師の増員を進めているとのことでした。

各御施設の事情（当院もこのルート確保に関しては，現況では病院から求められてはいません）は当然ありますが、今後の職域拡大に備えて告示研修を受講することは重要であると感じています。当院でも今年度からいつか訪れるかもしれない需要に向けて順次、スタッフに告示研修を受講してもらう様に準備を進めています。三重県診療放射線技師会では今年度も告示研修を6回開催する予定です。皆様も是非、告示研修を受講し、放射線検査での二刀流に備えませんか。

三重県診療放射線技師会では今年度の総会は対面での開催で準備を進めております。総会後の学術講演会も同様に対面で開催します。懇親会こそ企画できませんでしたが、アフターコロナに向けての準備を進めております。告示研修、各種技師会企画等、技師会活動への積極的な参加をお待ちしています。引き続き三重県診療放射線技師会をよろしくお願い致します。

□　お知らせ

「令和3年厚生労働省告示第 273 号研修(告示研修)」
(三重県)

（一社）三重県診療放射線技師会
会長　界外　忠之

告示研修（2023年度 三重県会場　第1回および第2回）の開催が決定いたしました。下記日程にて開催いたしますので、受講希望の方はJART予約システム（JARTIS）よりお申込みください。

記

開催日
第1回　2023年6月24日（土）　9：00～18：00
第2回　2023年6月25日（日）　9：00～18：00
※　研修プログラムは1日間です。

会　場
鈴鹿医療科学大学　千代崎キャンパス

予約開始
先行予約：2023年4月24日より（統一講習会受講すみの方）
一般予約：2023年5月1日より

以上

「令和 3 年厚生労働省告示第 273 号研修（告示研修)」三重県

会場：鈴鹿医療科学大学　千代崎キャンパス

プログラム

<table>
<tr><td rowspan="2">開始時刻</td><td colspan="2">グループ 1</td><td colspan="2">グループ 2</td><td colspan="2">グループ 3</td></tr>
<tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td><td>E</td><td>F</td></tr>
<tr><td>9:00</td><td colspan="6">動画の視聴（210 分　※休憩含む）</td></tr>
<tr><td>12:30</td><td colspan="6">休憩（60 分）</td></tr>
<tr><td>13:30</td><td rowspan="3">下部実技
(30 分)</td><td rowspan="3">上部実技
(30 分)</td><td rowspan="5">動脈実技</td><td rowspan="5">動脈実技</td><td rowspan="5">静脈実技</td><td rowspan="5">静脈実技</td></tr>
<tr><td>13:40</td></tr>
<tr><td>13:50</td></tr>
<tr><td>14:00</td><td rowspan="3">上部実技
(30 分)</td><td rowspan="3">下部実技
(30 分)</td></tr>
<tr><td>14:10</td></tr>
<tr><td>14:20</td><td colspan="2">休憩</td><td colspan="2">休憩</td></tr>
<tr><td>14:30</td><td colspan="2">休憩</td><td rowspan="2">下部実技</td><td rowspan="2">上部実技</td><td rowspan="2">静脈（RI）
RI 実技</td><td rowspan="3">静脈（CT）
静脈（echo）
静脈（他）</td></tr>
<tr><td>14:40</td><td rowspan="4">静脈実技
(50 分)</td><td rowspan="4">静脈実技
(50 分)</td></tr>
<tr><td>14:50</td></tr>
<tr><td>15:00</td><td rowspan="2">上部実技</td><td rowspan="2">下部実技</td><td rowspan="3">静脈（CT）
静脈（echo）
静脈（他）</td></tr>
<tr><td>15:10</td><td rowspan="2">静脈（RI）
RI 実技</td></tr>
<tr><td>15:20</td></tr>
<tr><td>15:30</td><td colspan="2">休憩</td><td colspan="2">休憩</td></tr>
<tr><td>15:40</td><td rowspan="3">静脈（RI）
RI 実技
(30 分)</td><td rowspan="3">静脈（CT）
静脈（echo）
静脈（他）
(40 分)</td><td rowspan="4">静脈実技</td><td rowspan="4">静脈実技</td><td colspan="2">休憩</td></tr>
<tr><td>15:50</td><td rowspan="4">動脈実技</td><td rowspan="4">動脈実技</td></tr>
<tr><td>16:00</td></tr>
<tr><td>16:10</td><td rowspan="4">静脈（CT）
静脈（echo）
静脈（他）
(40 分)</td></tr>
<tr><td>16:20</td><td rowspan="3">静脈（RI）
RI 実技
(30 分)</td></tr>
<tr><td>16:30</td><td colspan="2" rowspan="2">休憩</td></tr>
<tr><td>16:40</td><td colspan="2">休憩</td></tr>
<tr><td>16:50</td><td colspan="2">休憩</td><td rowspan="2">静脈（RI）
RI 実技</td><td rowspan="3">静脈（CT）
静脈
（echo）
静脈（他）</td><td rowspan="2">下部実技</td><td rowspan="2">上部実技</td></tr>
<tr><td>17:00</td><td rowspan="5">動脈実技
(50 分)</td><td rowspan="5">動脈実技
(50 分)</td></tr>
<tr><td>17:10</td></tr>
<tr><td>17:20</td><td rowspan="4">静脈（CT）
静脈（echo）
静脈（他）</td><td rowspan="3">上部実技</td><td rowspan="3">下部実技</td></tr>
<tr><td>17:30</td><td rowspan="3">静脈（RI）
RI 実技</td></tr>
<tr><td>17:40</td></tr>
<tr><td>17:50</td><td colspan="2"></td><td></td></tr>
<tr><td>18:00</td><td colspan="6">閉講式</td></tr>
</table>

□　活動報告

第70回 南勢地区消化管撮影技術研究会

日　時 2022年7月7日木曜日19時30分

場　所 Web（自宅他）：Zoom

内　容

＊基礎学習：胃X線診断の基本⑤

胃Ｘ線検診の為の読影判定区分について：その２

カテゴリー3b　存在または質的診断が不確実な所見

存在診断が不確実

質的診断が不確実

低画質画像による不確実所見からの拾い上げ

診断根拠が不確実となった要因の明確化

存在	質的存在(良悪性判定)			
	良性		悪性	良悪性
	確実	ほぼ確実	疑い以上	判定不能
確実	2	3a	4 or 5	3b
不確実	2	3b	3b	3b

カテゴリー4・5

存在確実な隆起性病変

腫瘤状陰影・透亮像を呈する上皮性や粘膜下の腫瘍では**不整な表面性状や壁伸展不良様の変形所見**などは悪性を疑ってカテゴリー4以上とする

上皮性腫瘍

境界明瞭な透亮像で周囲粘膜と比較し粗大顆粒を形成していて隆起性早期癌を疑う場合はカテゴリー4以上とする

最大径2cm以上の平盤状隆起や不整な亜有茎性隆起はカテゴリー4以上とする

粘膜下腫瘍様隆起

悪性化を考慮すべきGIST等のSMT、悪性リンパ腫や中心陥凹伴う場合、小さくても増大傾向がある場合はカテゴリー4以上とする

教科書を中心とした学習で典型的な症例を交えた基礎学習を皆さんで行いました。消化器撮影に於いてはやはり基礎学習、症例閲覧などを繰り返し学習事が最も重要であると思われ、定期的な学習が必要となってくると思われます。

Webでの学習である為、皆さんには投票機能などを使った参加型の研究会にすることで少しでも参加者さんの力になるように工夫をしてみました。

＊症例閲覧：２例

分かりやすい症例を２例紹介して頂きました。

これも参加型の工夫をしていただき、カテゴリー分類から組織形までわかりやすく紹介して頂きました。

第71回 南勢地区消化管撮影技術研究会

日　時 2022 年 12 月 8 日 木曜日　19 時 30 分

場　所 Web（自宅他）：Zoom

内　容

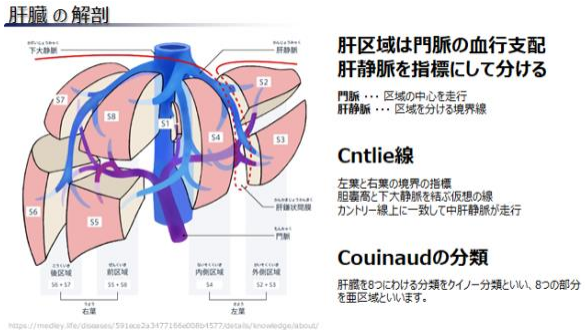
＊トピックス：シーメンス「日本初 次世代型フォトンカウンティング CT」

注目のフォトンカウンティングCTであることからいつも以上の参加者があったように思います。

＊ 他疾患フォローからの症例：市立伊勢総合病院

他疾患での CT 検査で発見された胃進行癌の例ですが、皮膚疾患の薬剤治療目的に撮影した胸部 CT からの発見例でした。

＊ 肝臓の CT 検査について考える：松阪中央総合病院



肝臓 CT 検査の基礎から造影タイミングの基本と実症例まで解説していただき、皆さん復習の意味もありかなり良い学習になったと思われます。

今後は様々なモダリティーの学習も含めて幅広い項目で南勢地区の放射線技師を中心に学習して頂けたらいいと思います。

令和4年度 津・榊原地区研究会

報告者：武内病院　草川　拓也

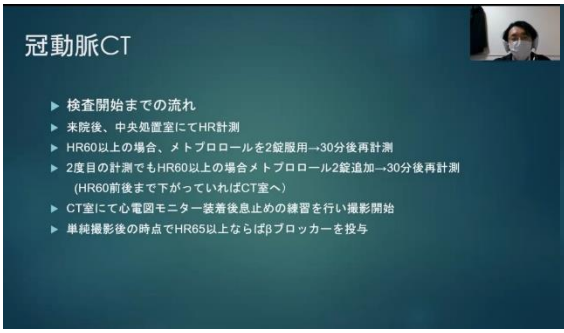
開催日時：令和５年２月２日(木)　19：00～20：00
参加人数　２１名
内容：各施設の取り組みについて

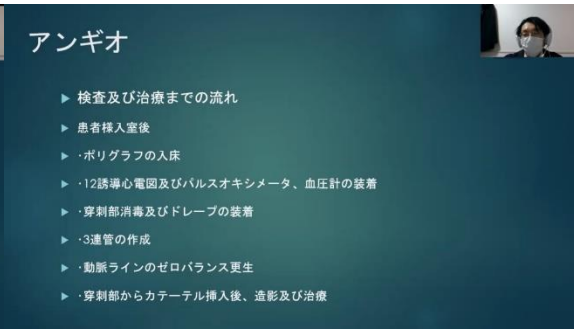
令和５年２月２日、WEB（ZOOM）にて令和４年度津榊原地区研究会を開催しましたので、概要を報告いたします。

１.新病院の取り組み　武内病院　伊東　拓也

昨年５月に移転した武内病院の概要、装置等の紹介ならびに新病院での取り組みとして冠動脈 CT、DECT、マンモグラフィ撮影、アンギオについてお話していただきました。

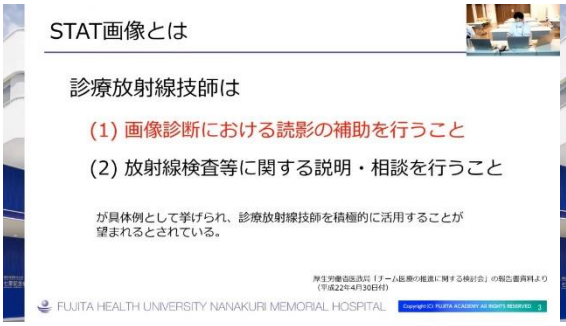
冠動脈 CT では MDCT セミナーでも大切と言われていた、心拍数のコントロールに気を付け、プロスクティブモードでの撮影を実施している内容であった。DECT では整形領域や肺塞栓時に DE モードを使用して撮影していることやアンギオの検査・治療までの流れや症例を交えての講演でした。





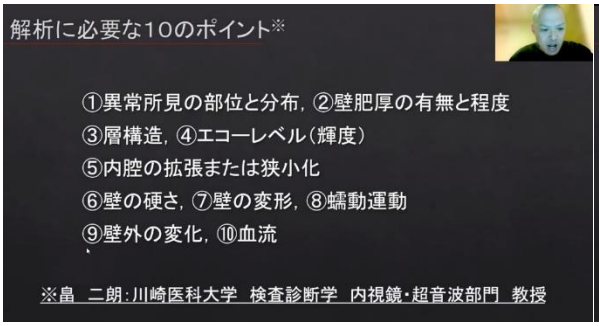
２.当院の取り組み～STAT 画像報告～　七栗記念病院　山本　未来

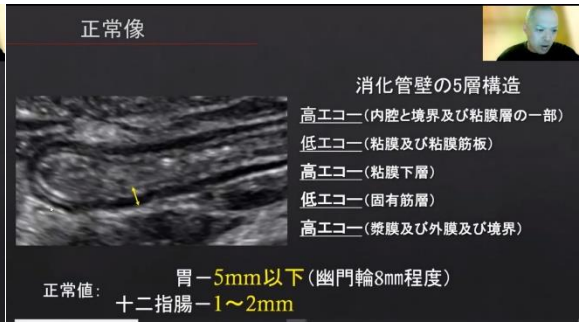
当院の取り組みとして STAT 画像報告について七栗記念病院山本先生にお話していただきました。STAT 画像のガイドラインの策定として報告適応条件、伝達方法、記録方法、教育体制について取り組んでいる内容について講演でした。



３.当院の取り組み～消化管エコーの有用性　浜田胃腸科　加藤　明徳

消化管エコーの有用性について、浜田胃腸科　加藤先生にお話していただきました。浜田胃腸科では腹部超音波検査に上部・下部消化管領域をスクリーニングとして取り入れており、今回、消化管エコーが有用であった症例を提示していただきました。症例の一部、エコーにてアニサキスの断定や胃がんの指摘といった内容もあり、驚くばかりの内容であった。消化管の診断はCT、内視鏡が主体となっているが、超音波検査は非侵襲的で簡便に検査できる手段であるため、今後に深く学んでいきたいと思える内容でした。





４当院の新型コロナウイルス感染対策の取り組み　市立伊勢総合病院　池田　和馬

新型コロナウイルス感染対策の取り組みについて、市立伊勢総合病院・池田先生にお話していただきました。感染症患者病棟のゾーニングでは細かく色分けをしていること、病棟・救急の検査時の対応や換気方法についての講演でした。

総括

４施設の講演でしたが、他施設の取り組みについて普段聞くことができない内容の研究会となりました。この研究会では中小病院やクリニックの技師が普段大きな研究会等に参加できないことから、当初は５名ほどでスタートした小さい研究会です。今回のように若い技師が今後も発表でき、スキルアップの場としていけるよう今後も活動していく予定です。

次回：未定

次回研究会は決定次第、研究会LINEならびに技師会ホームページよりお知らせする予定です。

□ 三重県診療放射線技師会活動報告

総務

担当業務理事　丹羽　正厳

担当理事数	5人			
開催状況				
開催日	項目	開催場所	内容	出席者数
2022/5/22	(一社)三重県診療放射線技師会学術講演会	web開催	特別講演 「くも膜下出血後の神経血管イベントの画像診断」 三重大学大学院医学系研究科　臨床医学系講座　脳神経外科学教授 鈴木　秀謙　先生	114
2022/8/4	夏季セミナー	web開催	特別講演 「乳癌の画像診断と治療」 三重大学医学部付属病院　乳腺センター 教授　小川　朋子　先生	90
2022/12/11	第6回三重県診療放射線技師学術大会 ・冬季セミナー	web開催	【第6回三重県診療放射線技師学術大会】 ＜そうだ！大学院へ行こう　第3弾企画＞ 「大学院　教員の独り言」 鈴鹿医療科学大学　保健衛生学部　放射線技術科学科 准教授　中舎　幸司　先生 ＜会員セッション＞ 会員による一般演題発表　6演題 【冬季セミナー】 「もうにげては通れない！立位膝関節のX線撮影法」 学校法人　大阪滋慶学園　大阪ハイテクノロジー専門学校 診療放射線技術科　専任教員　安藤　英次　先生	139
2023/4/20	春季セミナー	web開催	＜講演＞ 「検査説明は診療放射線技師の業務なのか、する必要があるのか」 (公社)日本診療放射線技師会　業務執行理事　江端　清和　先生	82

11	R4.10.31 業務理事会	Web 開催	8 人	・鈴鹿医療科学大学との業務包括連携協定について ・退会者事務処理について　　他
12	R4.11.21 総務委員会	Web 開催	8 人	・各種規定の変更について ・助成団体の公募締め切り日 ・定款変更について　　他
13	R4.12.26 理事会	Web 開催	17 人	・慶弔規定の廃止について ・統一講習会について　　他
14	R5.1.31 医療安全・危機管理委員会	Web 開催	6 人	・年間活動方針について ・災害時の活動について
15	R5.2.8 業務理事会	Web 開催	9 人	・事業に関する監査 ・定期総会について　　他
16	R5.3.2 総務委員会	Web 開催	7 人	・助成団体の申告状況と内容確認 ・定款変更について　　他
17	R5.3.2 理事会	Web 開催	18 人	・令和 5 年度事業計画案・事業予算案について　　他
18	R5.4.8 業務理事会	三重県診療放射線技師会事務所	9 人	・会計監査 ・事業に対する監査 ・第 73 回定時総会について　　他
19	R5.4.17 理事会	Web 開催	18 人	・第 73 回定時総会資料の確認 ・令和 4 年度監査報告　　他
20	R5.4.27 助成団体会議	Web 開催	15 人	・助成金の支払いについて ・助成団体活動について　　他
実施事項	・総会、業務理事会、理事会の資料及び議事録を作成しました。 ・公衆衛生協会公衆衛生事業功労者表彰に北林氏を推薦しました。 ・日本診療放射線技師会地域役員功労表彰に山田氏を推薦しました。 ・三重県診療放射線技師会功労表彰候補者に武藤氏、浅沼氏を推薦しました。			

学術

担当業務理事　丹羽　正厳

担当理事数	5人			
開催状況				
開催日	項目	開催場所	内容	出席者数
2022/5/22	(一社)三重県診療放射線技師会学術講演会	web開催	特別講演 「くも膜下出血後の神経血管イベントの画像診断」 三重大学大学院医学系研究科　臨床医学系講座　脳神経外科学教授 鈴木　秀謙　先生	114
2022/8/4	夏季セミナー	web開催	特別講演 「乳癌の画像診断と治療」 三重大学医学部付属病院　乳腺センター 教授　小川　朋子　先生	90
2022/12/11	第6回三重県診療放射線技師学術大会 ・冬季セミナー	web開催	【第6回三重県診療放射線技師学術大会】 ＜そうだ！大学院へ行こう　第3弾企画＞ 「大学院　教員の独り言」 鈴鹿医療科学大学　保健衛生学部　放射線技術科学科 准教授　中舎　幸司　先生 ＜会員セッション＞ 会員による一般演題発表　6演題 【冬季セミナー】 「もうにげては通れない！立位膝関節のX線撮影法」 学校法人　大阪滋慶学園　大阪ハイテクノロジー専門学校 診療放射線技術科　専任教員　安藤　英次　先生	139
2023/4/20	春季セミナー	web開催	＜講演＞ 「検査説明は診療放射線技師の業務なのか、する必要があるのか」 (公社)日本診療放射線技師会　業務執行理事　江端　清和　先生	82

広報・編集

担当業務理事　浅沼　源示

担当理事数	3
会議の開催状況	メールによる会議・相談　延べ84回
HPおよびfacebookへの掲載	助成団体開催案内　HP:5回 facebook:5回 求人情報　HP:3回 facebook:3回
メール配信サービスの発行	メール配信サービスによる会員への情報発信 38回
web会誌の作成（1）	表　　題：Web版 三重県放射線技師会誌　297 号（10月号） 発行期日：令和4年10月28日 ページ数：17 内　　容：巻頭言、三重県診療放射線技師会からのお知らせ、助成団体活動報告、総会・理事会議事録、編集後記 詳細はWeb会誌参照 原稿依頼、雑誌に掲載した研究会等に関する当日写真撮影、撮影写真編集、原稿校正、レイアウト修正、Web会誌作成に関する業務を行った。
web会誌の作成（2）	表　　題：Web版 三重県放射線技師会誌　298 号（2月号） 発行期日：令和5年2月24日 ページ数：20 内　　容：巻頭言、助成団体活動報告、理事会議事録、編集後記 詳細はWeb会誌参照 原稿依頼、雑誌に掲載した研究会等に関する当日写真撮影、撮影写真編集、原稿校正、レイアウト修正、Web会誌作成に関する業務を行った。
web会誌の作成（3）	表　　題：Web版 三重県放射線技師会誌　299 号（5月号） 発行期日：令和5年5月26日 ページ数：38 内　　容：巻頭言、助成団体活動報告、三重県診療放射線技師会活動報告、理事会議事録、第73回定期総会資料、編集後記 詳細はWeb会誌参照。 原稿依頼、原稿校正、レイアウト修正、Web会誌作成に関する業務を行った。

□ 議事録

第7回　理事会

1 開催日時　　令和5年3月2日(木)19:00～21:10
2 開催場所　　Web Zoom
3 出席者氏名
【理事】界外 忠之、山田 剛、武藤 裕衣、森田 英稔、浅沼 源示、丹羽 正厳、安本 浩二、難波 一能、小林 篤、福田 剛史、四竈 明日香、草川 拓也、山下 剛、清水 孝哉、大友 秀夫
【監事】白藤 裕敏、吉田 亘孝
【教育委員】松浦　佳苗
4 進行等
定款第30条により会長が議長となり、19:00開会を宣言した。
理事会を構成する理事17名のうち9名の出席を得たので、適法に成立する旨を述べ、議事の審議に入った。(途中参加により最終参加理事15名)

議事録作成　安本　浩二
5 議事
【決議事項】
1.　新入会員の承認
転入者2名について本会への入会を希望しているので入会許可についての可否について提案がなされた。
定款 32 条に基づき、当該提案を可決とする理事会の決議があったものとみなすを適用して、参加した理事全員の賛成により入会許可が決議された。
2.　令和5年度　三重県診療放射線技師会　功労表彰候補者
武藤裕衣氏、浅沼源示氏を表彰候補者とすることについての可否について提案がなされた。
定款32条に基づき、当該提案を可決とする理事会の決議があったものとみなすを適用して、参加した理事全員の賛成により同 2 名を表彰候補者とすることが決議された。

【検討事項】
１．令和5年度事業計画・予算編成について
会長より年間事業計画が提示された。
財務担当業務理事より令和5年度予算案が提示された。
→令和5年度事業計画・予算編成に関して了承された。

２．第73回定時総会について
・開催日：5月28日（日）←（第4日曜）
（日本超音波医学会学術大会の日程と重なるので、来年度以降は第3日曜での開催に変更）
・会場は三重大学とし現地開催のみ。
・議長候補について。(中勢または南勢で)
・3月中に総会資料作成。総務・財務・村田事務員にて。
・4月10日、会計監査・業務理事会。(県技師会事務所)
・4月17日、理事会。(web)
・理事会後、総会資料印刷。連休前までに会員に郵送。
→総会日程や内容、それまでの運用については、説明のあった内容で運用することが決議された。

３．鈴鹿医療科学大学との業務包括連携協定について
1 月 26 日、会長が鈴鹿医療科学大学　髙木理事長と面談し業務包括連携協定の内容について確認したところ、協定書の内容が具体性に欠けるため再考してもらいたいとのことであった。
今後は協定ありきではなく、具体的な事業について時間をかけて事業を進めていくこととした。事業としては、①災害時における診療放射線技師ができる支援と大学の協力。②ピンクリボン活動の普及。③鈴鹿医療科学大学独自の学生実習および技師会主導の就職支援活動などが具体例として挙げられた。各委員会でこれら事業について進めていき、業務理事会で集約していくことになった。

４．三重県議会議員の推薦について
県議会議員選挙に立候補を予定している「津田けんじ」氏より推薦の依頼があり推薦の可否について検討する。
→推薦を行なう意味やあぜもと代議士との関係などの質問があったが、当会は政治活動を行なわない団体でもあり、日本診療放射線技師連盟（JFRT）から推薦してもらう形として扱うこととした。

５．告示研修医師講師派遣の変更について
2 月の JRS（日本医学放射線学会）理事会にて 2023 年度 2 月 20 日以降の医師派遣を中止することが決議された。
今後、医師に代わる監督者として告示研修修了者で医療機関において拡大業務の実務経験がある診療放射線技師とすることで厚労省も了承。
実務経験のある監督者（診療放射線技師）がいない場合は、医師に依頼することも可能。（JRS の会員を優先）
看護師講師としては、診療放射線技師のファシリテータが行うことは可能。
JART の費用負担は、医師講師・看護師講師・FT6 名・責任者・スタッフの 10 名以内に変更なし。
次回、令和 5 年度第 1・2 回告示研修（6 月 24、25 日）はすでに医師講師（永田医師）から内諾をいただいている。
→今年度は今まで通り医師と看護師に講師として参加いただくこととした。

【会長報告事項】
1　第 5 回・第 6 回告示研修開催について
2 月 18、19 日　鈴鹿医療科学大学にて開催した。
18 日：44 名　　19 日：45 名

2　会員からの質問について
・会員（新町整形外科診療所）より事務局にメールにて質問があり、2 月 1 日、会長が電話にて本人に回答した。
・同会員より撮影料についての質問があり、2 月 22 日、山田副会長よりメールにて回答した。

３．令和 4 年度第 7 回表彰委員会について
1 月 23 日、表彰委員会を開催し
「令和 5 年度　男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」　への候補者推薦は無しとした。

４．令和４年度第８回表彰委員会について
2 月 2 日、表彰委員会を開催し
「令和５年度　女性のチャレンジ賞」　への候補者推薦は無しとした。

５．JART 年会費未納者数の報告について
JART より年会費未納者数の全国一覧が公表され、2022 年 12 月付にて三重県の未納者率は 4.71％で全国一納入率が高い県であるとのことであった。

６．慶弔規程の廃止について
その後も会員より申請があり、会員への周知が足らないことが考えられるため、廃止した慶弔規程に廃止と朱書きし再度掲示することとした。

７．JART 代議員について
JART より 2023・2024 年度代議員立候補の結果について報告あり。
三重県は定数内の立候補であった。
代議員：山田副会長・武藤副会長・森田業務理事・浅沼業務理事
補欠代議員：丹羽業務理事

８．東海四県放射線技師学術大会会長会議より
事前参加登録者 155 名　3 月 2 日（木）11:30 時点で 147 名　（三重県：8 名）
今後、事業費は各県で準備することとなった。（どうしても不足が出た場合は残り 3 県で負担する）
診療放射線技師の講師には謝金を支払わないこととなっているが、実際にはお願いしにくいので、開催県の実情に合わせた判断に任せることとなった。
（今回は 3000 円のクオカードを渡した）
会議の名称は、「東海四県会長会議」を廃止し、「東海四県診療放射線技師学術大会運営会議」とすることとなった。
現在開催を停止している東海四県親睦事業（当番担当三重県）は、事業自体を中止することとなった。
・森田業務理事より負担金の金額や各県で開催費の積み立て金額は決まっているのかとの質問がなされた。
・金額は決まっていない。今回開催した静岡県を参考にし、今年度より 10 万円を積み立てていくこととした。

９．インボイス制度について
2023 年 10 月から施行される消費税の新制度であるインボイス制度について、当会の事務業務において変更が必要か山中会計士に相談したところ、「当会の収入は会費収入のみのため必要なし」との回答であった。

１０．JART 新生涯教育システムへの移行について
JART のラダーには JART で把握している情報については、そのラダーレベルに応じて自動移行するが、JART が把握できない各施設での職位などは３月末までに JARTIS のマイページから自己申告が必要。

１１．CCRT 倫理委員について
次年度の CCRT 福井大会から演題登録については倫理審査を行うこととなっている。先日の CCRT 運営会議にて倫理委員会規程が制定され倫理委員会の構成として、委員長・副委員長・委員 7 名と規定された。

7名の委員は各県から１名づつ選出することになるので、三重県で唯一JSRTの倫理講習を受講している三重大学の山尾先生にお願いし、快諾を得た。

１２．JART令和4年度第6回理事会報告
・入会促進のために「学生サポーター」を導入する。
・60歳以上は会費減額。
・麻生執行理事辞任のため、江端理事が執行理事に就任。
・第41回JCRTは福井県に決定。
・第86回定時総会は6月10日（日）web開催
・医療安全管理者養成研修がJARTISから受講・試験できることになった。
会員4万円。非会員10万円。
・STAT画像学習システム稼働する。
・債権回収3月末発送。これにより年会費未納者は300名程度が200名程度に。
・告示研修。医師講師派遣中止。技師が監督者を務めてよいこととなった。
厚労省も認めた。看護師講師はファシリテータが務めてよいこととなった。

【会長活動報告】
１．鈴鹿医療科学大学理事長と面談した。1月26日（鈴鹿医療科学大学）
２．乳腺研修委員会に出席した。1月31日（web）
３．JART試験システム説明会に出席した。2月6日（web）
４．第5回業務理事会開催。2月8日（web）
５．第63回東海四県診療放射線技師学術大会に出席した。2月11日（アクトシティー浜松）
６．令和4年度三重県医療事故調査等支援団体連絡協議会に出席した。2月16日（三重県医師会館）
７．令和4年度第5・6回告示研修を開催した。2月18、19日（鈴鹿医療科学大学）
８．岐阜県診療放射線技師会　令和4年度レントゲン祭並びに冬季セミナーにて講演を行った。2月23日（岐阜県立図書館）
９．令和4年度第6回JART理事会に出席した。2月25日（web）
１０．JART災害対策支援認定技師講習会を開催した。2月26日（兵庫県災害医療センター）

【副会長・業務理事・理事報告】
1.　第1回医療安全・危機管理委員会報告（山田副会長）
1月31日に第1回医療安全・危機管理委員会を開催した。
年間活動としては、災害の講演を行うこととした。
災害時連絡網として、診療用放射線取扱施設代表者会議のメーリングリストを活用していきたいと考えており、理事会で了承を得たい。
→賛成多数で了承された。
5月28日総会後に災害に関しての講演を開催予定。
2.　業務改善推進委員会委員の追加について(武藤副会長)
伊勢赤十字病院　林奈緒子さん、県立総合医療センター　中村大希さん
の2名が業務改善推進委員に提案がなされた。
→提案に関して承認された。
3.　3月15(水)16:00～　Zoomにて　鈴鹿医療科学大学臨床実習指導者説明会を開催する。

多くの施設にご参加をお願いしたい。(武藤副会長)

4. 技師会事務所の廃棄物(安本総務業務理事)
技師会事務所にある書類等の廃棄の有無を会長、副会長とともに判断して廃棄していきたい。3 月 12 日に事務所で開催したいので参加可能な理事には協力いただきたい。

5. 定款の変更(安本総務業務理事)
次回総会時に定款の一部変更に関して提案がなされた。
第 6 章　第 32 条の”全員“を”過半数が出席し、その全員“に変更
第 6 章　第 33 条の理事を代表理事に変更
これら内容の変更に関しては司法書士に確認し、登記の変更の必要はないとのことである。
→提案に関して承認された。

6. 財務報告(森田財務業務理事)
今月に旅費の支払いが行なわれる。

7. 県技師会メール配信サービス vol. 192～197 を配信した。(浅沼広報業務理事)
ホームページの各種変更や追加を行った。
2 月 24 日に会誌 2 号を発刊した。
技師会への問い合わせ方法を技師会のメールアドレスに変更した。

8. 第 1 回乳腺研修委員会報告(四竈理事)
1 月 31 日に第 1 回乳腺研修委員会を開催とその内容に関して報告がなされた。

9. 乳腺研修委員会の来年度のイベントに関して(四竈理事)
乳腺研修委員会の来年度のイベントに関して提案がなされた
【日時】令和 5 年 8 月 20 日(日)午後　web 形式の講演　参加費無料
【内容】(1)静岡がんセンター　伊東　孝宏　先生
マンモグラフィの再撮影について(1 時間)
(2)竹田乳腺クリニック　東　純子　先生
講演内容は調整中(1 時間)
講師の費用等に関しては、四竈理事と森田業務理事で進めていくこととなった。

【教育委員会報告】(松浦教育委員)

1. 三重県の告示研修の参加率は高く、来年度も今年度と同様回数開催を予定している。
2. JART より春に実施要綱が届く予定であり、届き次第共有する。

【その他】
吉田監事より総会の議長が決まっていないことは大丈夫なのかとのご意見があった。

以上をもって本日の議案全ての審議を終了し、21：10 に閉会した。

上記の通り原本と相違ないことを証明する。
令和 5 年 3 月 2 日
一般社団法人三重県診療放射線技師会
会長　　界外 忠之

第8回 理事会

1 開催日時　　令和5年4月17日(木)19:00～21:00
2 開催場所　　Web Zoom
3 出席者氏名
【理事】界外 忠之、山田 剛、武藤 裕衣、森田 英稔、丹羽 正厳、安本 浩二
難波 一能、小林 篤、福田 剛史、太田 茂治、四竈 明日香、山下 剛
星野 吉昭、清水 孝哉、大友 秀夫
【監事】白藤 裕敏、吉田 亘孝
【教育委員】松浦　佳苗
4 進行等
定款第30条により会長が議長となり、19:00開会を宣言した。
理事会を構成する理事17名のうち14名の出席を得たので、適法に成立する旨を述べ、議事の審議に入った。(途中参加により最終参加理事15名)

議事録作成　安本　浩二

【決議事項】
1．新入会員の承認
転入者4名について本会への入会を希望しているので入会許可についての可否について提案がなされた。
定款32条の規定を適用し、参加した理事全員の賛成により入会許可が決議された。

【検討事項】
1．第73回定時総会資料について
総会資料及び開催日現地での会場担当者の確認
・参加全員で総会資料の誤字脱字、事業日時などを確認した。
その後、総会資料について理事会の中で承認された。
・議長候補の報告。済生会松阪　鈴木技師長。シナリオを作成の上、送付。
・総会役員の選出。(会場係2名。議事録署名人1名。声かけ係：理事以外)
会場係は大友理事、星野理事
議事録署名人は清水理事と安本理事
声かけ係は鈴鹿医療科学大学の先生に依頼する。
定期総会の出欠及び委任状返信のお願い
・総会までのスケジュールを確認し、定期総会の出欠及び委任状を含む返信はがき関しても早急に投函してもらうよう会長と理事との間で確認された。
2．助成金の支払いについて
今までの解釈と規定の齟齬
・本来の規定では、前年度の実績を確認の上、次年度の計画に対して支払いを決定し、実際の支払いは次年度の会計より支払うところ、実際には、その年度の会計から出金し、総会当日に現金で助成団体代表者に手渡していた。
コロナ禍の影響により助成団体の一部が助成金を辞退されたことで、今までの支払い対応が本来の規定と違っていたことが判明した。
そこで、令和5年度から本来の方法で支払うこととする。
→助成金の今後の支払い方法の変更について承認された。
また、コロナで対面する機会がなく支払いが遅くなったことと、支払いを求めない団体が出てきたことで、手元に助成金が残ってしまった。

現時点で令和3年度まで支払っており、次は令和5年度の支払いになるので、助成団体側に発出する領収書は令和4年度分が抜け落ちる形になる。
令和4年度執行できなかった助成金の会計処理については山中会計士と相談の上、雑費収入で処理することとした。その後、助成金会計処理についても理事会の中で承認された。
助成団体には、27 日に助成団体会議の中で助成金支払いの齟齬について説明した上、了承を求めることとする。

３．三重県診療放射線技師会財産管理規定について
会館設立準備金積立金が 1000 万円を超える高額になってきている。
山中会計士より、もしもの時には取り崩して別の事業に使えるようにするために財産管理規定の制定が必要との指摘があり、今後、財務委員会で作成することとした。
→財務委員会で担務することを承認された。

【会長報告事項】

1. 第 24 回三重県超音波研究会後援依頼について
大会長の内田文也会長（三重ハートセンター　臨床検査科）より書面にて後援依頼あり。
当会は毎年後援している研究会であり、規約に則り理事会の承認なしで承認とした。
総務より書面にて回答した。

２．令和4年度第2回助成団体会議の開催について
4 月 27 日、助成団体会議を開催する。
令和5年度からの支払いについてと令和4年度分領収書が発出できないことについて説明し了承を求めたい。
当会の収支について質問があるかもしれないので、業務理事および監事の出席を求めた。

３．鈴鹿医療科学大学評議員会の報告
初めて大学全体としての定員割れ。
今後は入試方法を変更する方向で検討する。

４．事務所の廃品処分を行った。
3 月 12 日、理事・監事で廃品の最終確認。
3 月 29 日、会長・総務、財務業務理事立ち合いのもと業者にて回収完了。
回収処分費用 95000 円。

５．県会議員「津田けんじ」候補への推薦状について。
前回理事会での検討事項であった、津田けんじ県会議員への推薦状について、日本診療放射線技師連盟より、三重県支部長と県技師会会長の連名として推薦状をいただき、津田事務所に送付した。
今後、連盟関係のことは日本診療放射線技師連盟に相談することとする。

【会長活動報告】

１．財務委員会に出席した。3 月 28 日（web）
２．鈴鹿医療科学大学評議員会に出席した。3 月 29 日（鈴鹿医療科学大学）
３．事務所廃品処分に立ち合い。山中会計士と会計処理について相談。3 月 29

日（県技師会事務所）

【副会長・業務理事・理事報告】
1．春季セミナーについて（山田副会長）
4 月 20 日（木）に開催。最終登録数は 83 名である。
2．夏季セミナー（山田副会長）
6 月 8 日（木）に開催する。内容は冨士フィルムの画像報告書関係と神経内科の新藤教授にアミロイドーシスの講演を計画している。
3．総会時学術講演会について（山田副会長）
対面式で行いますので、是非多くの方の参加をお願いする。
4．レントゲン週間（武藤副会長）
広報委員会と企画などを相談して進めていく。
5．業務改善委員会（武藤副会長）
委員会を開催し、講習会あるいはセミナーを企画していく。
6．三重県診療放射線技師会の書類番号について（安本業務理事）
書類番号を事業年度単位で運用していくこととし、総会日以降から１番とすることとした。

森田業務理事より、書類番号は年度で区切るものであるのかとの質問があり
行政では年度で区切っていることと、年度で区切った方がわかりやすいと思われるのではとの意見もあり、三重県診療放射線技師会は事業年度単位で番号付けを行って行くこととした。

7．総務委員会の委員の増員について（安本業務理事）
総務委員会に回生病院の福田先生に協力をお願いし、増員を認めていただきたい。
→理事会の中で承認された。

8．三重県診療放射線技師学術集会（丹羽業務理事）
今年度は対面開催を計画している。
アイデアや企画があれば連絡いただきたい。

【JART 教育委員報告】（松浦委員）
1．告示研修について
6 月 24 日、25 日に開催予定。
統一講習会受講修了者の先行受付を 4 月 24 日から行う。
一般の受付は 5 月 1 日から行われる。

会長より、6 月 24 日の告示研修時に会長不在であるため、会場責任者を募りたいとの依頼があり、安本業務理事が引き受けることとなった。

3 回目以降は昨年度の日程と同様な日程で考慮する。

2．フレッシャーズセミナーについて
今年度は 6 月に告示研修があり、7 月の第 2、3, 4 日曜日で開催を検討している。
開催方式は対面式での開催である。

武藤副会長より、講師に関して、昨年度と同様で了承いただけるか。

→了承された。

日程については、講師内諾後に各講師に日程を確認し後日報告することとなった。

３．基礎講習会（MRI 検査）について
未定です。
４．統一講習会について
昨年の日程をベースに考慮していく。

【その他】
１．太田理事異動　三重県津保健所総務企画課へ

２．年間スケジュール
年間スケジュールをホームページに掲載しているが、セミナー等の日程機決まりましたら、随時広報担当に掲載依頼をしてください。

３．今年度の活動
鈴鹿医療科学大学の創立に診療放射線技師が大きく携わっていたことや鈴鹿医療科学大学内の顕彰碑があり、年に 1 回 JART 理事がその年にお亡くなりになられた診療放射線技師の方々の魂を石碑に入れる入魂式を行っているなど三重県は診療放射線技師の聖地と考えているが、現在では診療放射線技師にもあまり知られていない状況である。そこでこのような歴史を後世に引き継いでいけるよう宣伝活動のようなことを行って行きたいと考えている。（会長より）

以上をもって本日の議案全ての審議を終了し、21：10 に閉会した。

上記の通り原本と相違ないことを証明する。

令和 5 年 4 月 17 日
一般社団法人三重県診療放射線技師会
会長　　界外　忠之

□　第73回 定時総会資料

第 73 回三重県診療放射線技師会
定時総会

令和 5 年 5 月 28 日(日)　受付 12：30～　開始 13：00～
於：三重大学医学部 臨床講義棟　第 2 講義室
津市江戸橋 2-174

総　会　次　第

開　会　の　辞

会　長　挨　拶

表　　彰

議　長　選　出

資　格　審　査

総会役員の選出

議　事
1. 報告事項
- 報告 1 号　　令和 4 年度事業経過・総務・監査報告
- 報告 2 号　　令和 5 年度事業計画・予算報告

2. 決議事項
- 第 1 号議案　　貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認
- 第 2 号議案　　定款の変更
- 第 3 号議案　　会員及び会費等に関する規程の改定

3. その他

総会役員を解任

議　長　降　壇

閉　会　の　辞

＊　総会に出席されます方は、この資料をお持ちください。

令和４年度　表彰者披露

日本診療放射線技師会地域役員功労表彰

山田　剛

三重県診療放射線技師会会長表彰

武藤　裕衣　　浅沼　源示

勤続 50 年表彰

矢田　五夫

勤続 30 年表彰

近藤　偲瑞子　　伊藤　正道　　二宮　昭人　　三好　佳仁　　飯田　喜朗

一色　朋晃

『報告１号』

令和４年度　事業経過報告

事業及び主要事項(令和４年５月 22 日～令和５年５月 27 日)

【本会事業】

第 72 回定時総会

日　　時　　令和４年５月 22 日

場　　所　　Web 開催

参加者数　　423 名　（出席者　19 名　委任状　404 名）

（一社）三重県診療放射線技師会学術講演会

日　　時　　令和４年５月 22 日

場　　所　　Web 開催

参加者数　　114 名

内　　容　　＜特別講演＞

「くも膜下出血後の神経血管イベントの画像診断」

講師：三重大学大学院医学系研究科　臨床医学講座　脳神経外科学教授

鈴木　秀謙　先生

人材育成セミナー

日　　時　　令和４年５月 26 日

場　　所　　Web 開催

参加者数　　76 名

内　　容　　「キャリアデザインとは～人生 100 年時代の自分設計～」

講師：鈴鹿医療科学大学　保健衛生学部　放射線技術科学科　教授

武藤　裕衣　先生

「九州国立病院機構診療放射線技師会における

キャリアデザインを用いた人材育成の取り組み」

講師：独立行政法人国立病院機構　九州医療センター　今西　美嘉　先生

夏季セミナー

日　　時　　令和４年８月４日

場　　所　　Web 開催
参加者数　　90 名
内　　容　　＜特別講演＞
「乳癌の画像診断と治療」
三重大学医学部附属病院　乳腺センター　教授　　小川　朋子　先生

第 2 回診療放射線取扱施設代表者会議
日　　時　　令和 4 年 9 月 5 日
場　　所　　Web 開催
参加者数　　24 名

第 6 回三重県診療放射線技師学術大会・冬季セミナー
日　　時　　令和 4 年 12 月 11 日
場　　所　　Web 開催
参加者数　　139 名
内　　容　　【第 6 回三重県診療放射線技師学術大会】
＜そうだ！大学院へ行こう　第 3 弾企画＞
「大学院　教員の独り言」
鈴鹿医療科学大学　保健衛生学部　放射線技術科学科　准教授
中舎　幸司　先生
＜会員セッション＞
会員による一般演題発表　6 演題

【冬季セミナー】
＜教育講演＞
「もう逃げては通れない！立位膝関節の X 線撮影法」
学校法人　大阪滋慶学園　大阪ハイテクノロジー専門学校
診療放射線技師学科　専任教員　　安藤　英次　先生

春季セミナー
日　　時　　令和 5 年 4 月 20 日
場　　所　　Web 開催
参加者数
内　　容　　＜講演＞
「検査説明は診療放射線技師の業務なのか、する必要があるのか」
(公社)日本診療放射線技師会　業務執行理事　　江端　清和　先生

【JART 事業】
フレッシャーズセミナー
日　　時　　令和 4 年 6 月 19 日
場　　所　　Web 開催
参加者数　　30 名

告示研修（第1回、第2回）
日　　時　　令和4年6月25・26日
場　　所　　鈴鹿医療科学大学
参加者数　　第1回　48名、第2回　42名

告示研修（第3回、第4回）
日　　時　　令和4年8月27・28日
場　　所　　鈴鹿医療科学大学
参加者数　　第3回　42名、第4回　46名

告示研修（第5回、第6回）
日　　時　　令和5年2月18・19日
場　　所　　鈴鹿医療科学大学
参加者数　　第5回　45名、第6回　44名

統一講習会
日　　時　　令和4年12月3～4日
場　　所　　鈴鹿医療科学大学
参加者数　　45名

理事会

第1回理事会	令和4年　5月22日	第1回業務理事会	令和4年　6月　6日
第2回理事会	令和4年　6月20日	第2回業務理事会	令和4年　8月　9日
第3回理事会	令和4年　8月　5日	第3回業務理事会	令和4年10月31日
第4回理事会	令和4年　8月22日	第4回業務理事会	令和4年12月　6日
第5回理事会	令和4年　9月26日	第5回業務理事会	令和5年　2月　8日
第6回理事会	令和4年　12月26日	第6回業務理事会	令和5年　4月10日
第7回理事会	令和5年　3月　2日		
第8回理事会	令和5年　4月17日		

監査　　令和5年　4月10日

Web会誌発行　　三重県診療放射線技師会会誌　Vol.73
No.1　通算第297号　令和4年　10月28日
No.2　通算第298号　令和5年　2月24日
No.3　通算第299号　令和5年　5月26日

関連事業

第84回(公社)日本診療放射線技師会定時総会	Web	令和4年6月11日
第85回(公社)日本診療放射線技師会臨時総会	Web	令和4年12月3日
（公社）日本診療放射線技師会創立75周年記念式典	東京	令和4年7月16日
第38回日本診療放射線技師学術大会	兵庫	令和4年9月16～18日

第 14 回中部放射線医療技術学術大会　　愛知　令和 4 年 11 月 5～6 日
第 63 回東海四県診療放射線技師学術大会　　静岡　令和 5 年 2 月 11 日

総務報告(令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日)

会員数（令和 4 年 4 月 1 日現在　576 名）
新入会員数　29 名
転入会員数　7 名
転出会員数　7 名
退会会員数　13 名
令和 5 年 3 月 31 日現在　592 名

婚礼御祝　2 名
香典・生花　3 名

備品目録

固定資産　電話加入権1 式

賛助会員

キヤノンメディカルシステムズ(株)
GE ヘルスケア・ジャパン(株)
シーメンスヘルスケア(株)
日本メジフィジックス(株)
富士フイルムヘルスケア(株)
(株)ワキタ商会
(株)エントーレス
オリオン・ラドセーフメディカル(株)
GE ヘルスケアファーマ(株)
トヨタ産業(株)
バイエル薬品(株)
(株)フェニックス
富士製薬工業(株)
堀井薬品工業(株)
(株)三輪器械
(株)島津製作所
コニカミノルタジャパン(株)
(株)中部メディカル
ＰＤＦファーマ（株)
富士フイルムメディカル(株)
安西メディカル(株)
オーラムメディカル(株)
カイゲンファーマ(株)
東洋メディック(株)
(株)根本杏林堂
(株)フィリップス
(株)フォーム
伏見製薬(株)
エーザイ(株)
(株)八神製作所

(30 社・順不同)

バナー広告協賛社

キヤノンメディカルシステムズ(株)
ＰＳＰ(株)
コニカミノルタジャパン(株)
(株)中部メディカル
ＰＤＦファーマ(株)
(株)ワキタ商会
日本メジフィジックス(株)
(株)エントーレス
カイゲンファーマ(株)
シーメンスヘルスケア(株)
(株)フォーム
富士フイルムメディカル(株)
(株)フィリップス
エーザイ(株)

(14 社・順不同)

『報告２号』

令和５年度　事業計画

【本会事業】

三重県診療放射線技師会会誌(Web 会誌)	Vol.74　No.1.　2.　3
第 73 回定時総会	令和５年５月28 日
夏季セミナー	令和５年６月８日
秋季セミナー	令和５年未定
冬季セミナー	令和５年未定
春季セミナー	令和６年未定
第７回三重県診療放射線技師学術大会	令和５年未定
第３回レントゲン週間事業	令和５年11 月 12 日
被ばく低減施設認定推進事業	未定
業務改善委員会活動	令和５年11 月 26 日
第１回乳腺研修委員会講演会	令和５年８月 20 日
福利厚生事業	未定
地区技師会活動	令和５年未定
第３回診療放射線取扱施設代表者会議	令和５年未定

【JART 事業】

フレッシャーズセミナー	令和５年７月
基礎講習会（MRI 検査）	令和５年未定
業務拡大に伴う統一講習会	令和５年未定
告示研修(令和５年度第１回、第２回)	令和５年６月 24・25 日
告示研修(令和５年度第３回、第４回)	令和５年８月予定
告示研修(令和５年度第５回、第６回)	令和６年２月予定

【助成団体】　北勢消化器画像研究会　三重胸部 CT 技術研究会
津榊原地区研究会　南勢地区消化管撮影技術研究会

【関連事業】

第 86 回	(公社)日本診療放射線技師会総会	Web	令和５年６月10 日
第 39 回	日本診療放射線技師学術大会	熊本	令和５年９月29 日 ～10 月１日
第 15 回	中部放射線医療技術学術大会	福井	令和５年11 月 25～26 日
第 64 回	東海四県診療放射線技師学術大会	愛知	令和６年２月４日

【法人会員学会】

三重県公衆衛生学会

監　査　報　告　書

令和５年４月10日

一般社団法人　三重県診療放射線技師会
会　長　　界外　忠之　　殿

監　事　吉田　亘孝
監　事　白藤　啓敏
監　事　山中　悠史

私たち監事は、一般社団法人三重県診療放射線技師会（以下、「当法人」と略します。）の令和４年度（令和４年４月１日から令和５年３月31日まで）の事業報告、計算書類（貸借対照表、正味財産増減計算書及び注記表）、附属明細書、財産目録及びその他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

1.　監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行の状況について報告を受け、重要な決裁書類等を閲覧し、当法人の事務所において業務及び財産の状況を調査しました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査しました。さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当年度に係る計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について監査しました。

2.　監査の結果

(1)　事業報告書の監査結果

①　事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。

②　理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2)　計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以　上

予算（2023年4月1日から2024年3月31日まで）

1.収入の部　（単位：千円）

勘定科目			令和5年度	令和4年度	増減	備考
大科目	中科目	小科目	予算額	予算額		
基本財産運用益			0	0	0	
	基本財産運用益		0	0	0	
会費			4,535	4,408	127	
	正会員会費		3,360	3,258	102	
	賛助会員会費		1,175	1,150	25	
事業収益			530	520	10	
	研修事業収益		0	0	0	
	広告料		430	420	10	
	業務委託料		100	100	0	
雑収益			1,500	2,500	△ 1,000	
	什器備品費積立金取崩		1,500	1,500	0	流動資産戻入
	70周年積立余剰金取崩		0	1,000	△ 1,000	75周年繰越
	受取利息		0	0	0	
前期繰越収支差額			3,762	2,794	968	
	前期繰越収支差額		3,762	2,794	968	
収入合計			10,327	10,222	105	

2.支出の部　（単位：千円）

勘定科目			令和５年度	令和4年度	増減	備考
大科目	中科目	小科目	予算額	予算額		
事業費			3,954	4,964	△ 1,010	
	給料手当		774	774	0	
	福利厚生費		200	200	0	
	諸謝金		500	550	△ 50	
	旅費交通費		700	400	300	
	交際費		100	100	0	
	食糧費		50	100	△ 50	
	印刷製本費		70	100	△ 30	
	光熱水料費		40	40	0	
	通信運搬費		300	300	0	
	賃借料		840	840	0	
	消耗什器備品費		100	1,200	△ 1,100	
	減価償却費		40	40	0	
	消耗品費		100	100	0	
	助成金支出		80	160	△ 80	
	雑費		60	60	0	
管理費			751	1,291	△ 540	
	給料手当		186	186	0	
	福利厚生費		30	150	△ 120	
	旅費交通費		50	20	30	
	交際費		20	20	0	
	消耗品費		20	80	△ 60	
	食糧費		10	30	△ 20	
	光熱水料費		10	10	0	
	通信運搬費		100	100	0	
	賃借料		255	255	0	
	消耗什器備品費		50	410	△ 360	
	減価償却費		10	10	0	
	雑費		10	20	△ 10	
特定預金支出			1,300	2,300	△ 1,000	
	会館設立準備積立金		400	600	△ 200	
	什器備品費積立金		300	300	0	
	75周年積立金		600	1,400	△ 800	
次期繰越収支差額			4,322	1,667	2,655	
	次期繰越収支差額		4,322	1,667	2,655	
支出合計			10,327	10,222	105	

『第1号議案』

貸　借　対　照　表

令和5年3月31日現在

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ．資産の部			
1.流動資産			
現　金	208,538	36,271	172,267
預　貯　金	3,553,871	2,758,219	795,652
流動資産合計	3,762,409	2,794,490	967,919
2.固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産引当預金	2,000,000	2,000,000	0
基本財産合計	2,000,000	2,000,000	0
(2) 特定資産			
什器備品費積立預金	5,007,030	4,706,990	300,040
会館建設積立預金	11,318,735	10,718,645	600,090
75周年積立預金	1,400,129	1,000,119	400,010
特定資産合計	17,725,894	16,425,754	1,300,140
(3) その他固定資産			
電話加入権	83,220	83,220	0
敷金（事務所賃借）	331,680	331,680	0
その他固定資産合計	414,900	414,900	0
固定資産合計	20,140,794	18,840,654	1,300,140
資産合計	23,903,203	21,635,144	2,268,059
Ⅱ．負債の部			
流動負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
Ⅲ．正味財産の部			
1．一般正味財産	23,903,203	21,635,144	2,268,059
（うち基本財産への充当額）	（ 2,000,000 ）	（ 2,000,000 ）	0
（うち特定財産への充当額）	（ 17,725,894 ）	（ 16,425,754 ）	1,300,140
正味財産合計額	23,903,203	21,635,144	2,268,059
負債及び正味財産合計	23,903,203	21,635,144	2,268,059

正 味 財 産 増 減 計 算 書

令和4年4月1日から　令和5年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	当年度	前年度	増　　減
Ⅰ．一般正味財産増減の部			
1			
（1）経常収益			
①基本財産運用収益	(34)	(170)	(△ 136)
基本財産運用利息	34	170	△ 136
②受取会費	(4,625,000)	(4,529,000)	(96,000)
正会員会費	3,450,000	3,354,000	96,000
賛助会員会費	1,175,000	1,175,000	0
③事業収益	(608,499)	(533,600)	(74,899)
研修事業収益	60,499	0	60,499
広告料	440,000	430,000	10,000
全国会費代行徴収収益	108,000	103,600	4,400
④雑収益	(2,080,168)	(152)	(2,080,016)
寄付金	2,000,000	0	2,000,000
雑収入	80,000	0	80,000
受取利息	168	152	16
経常収益計	7,313,701	5,062,922	2,250,779
（2）経常費用			
①事業費	(4,384,602)	(2,742,460)	(1,642,142)
給料手当	774,000	774,000	0
福利厚生費	0	0	0
諸謝金	413,644	276,054	137,590
旅費交通費	527,686	224,490	303,196
交際費	28,265	39,770	△ 11,505
食糧費	47,477	17,425	30,052
印刷製本費	68,700	50,776	17,924
光熱水費	35,964	39,785	△ 3,821
通信運搬費	241,114	275,946	△ 34,832
賃借料	840,000	840,000	0
消耗什器備品費	1,355,930	0	1,355,930
減価償却費	0	25,784	△ 25,784
消耗品費	21,532	4,977	16,555
助成金支出	0	160,000	△ 160,000
雑費	30,290	13,453	16,837
研修費	0	0	0
②管理費	(661,040)	(766,639)	(△ 105,599)
給料手当	186,000	186,000	0
福利厚生費	44,899	90,434	△ 45,535
旅費交通費	19,200	19,200	0
交際費	0	0	0
食糧費	0	0	0
光熱水費	0	0	0
通信運搬費	115,545	60,586	54,959
賃借料	254,544	254,544	0
消耗什器備品費	17,496	104,976	△ 87,480
減価償却費	0	0	0
消耗品費	18,476	48,919	△ 30,443
雑費	4,880	1,980	2,900
③ 70周年記念式典	0	1,694,192	△ 1,694,192
	5,045,642	5,203,291	△ 157,649
当期一般正味財産増減額	2,268,059	-140,369	2,408,428
一般正味財産期首残高	21,635,144	21,775,513	△ 140,369
一般正味財産期末残高	23,903,203	21,635,144	2,268,059
Ⅱ．正味財産期末残高	23,903,203	21,635,144	2,268,059

財　産　目　録

令和5年3月31日現在

（単位：円）

科目		金額		
Ⅰ・資産の部				
1.流動資産				
現金	現金手許有高	208,538		
普通預金	百五銀行　津駅前支店	2,040,568		
郵便振替口座	津駅前郵便局	1,513,303		
	流動資産合計		3,762,409	
2.固定資産				
（1）基本財産				
基本財産引当預金				
定期預金	百五銀行　津駅前支店	2,000,000		
	基本財産合計	2,000,000		
（2）特定目的資産				
什器備品費積立金				
普通預金	百五銀行　津駅前支店	5,007,030		
会館設立準備積立金				
普通預金	百五銀行　津駅前支店	11,318,735		
７５周年積立金				
普通預金	百五銀行　津駅前支店	1,400,129		
	特定目的資産合計	17,725,894		
（3）その他の固定資産				
電話加入権		83,220		
敷金（事務所借用資金）		331,680		
	その他の固定資産合計	414,900		
	固定資産合計		20,140,794	
	資産合計			23,903,203
Ⅱ・負債の部				
1.流動負債		0		
	流動負債合計		0	
	負債合計			0
	正味財産			23,903,203

財務諸表に関する注記

1　重要な会計方針

(1)固定資産の減価償却の方法

固定資産については、定額法により減価償却を行っております。

(2)消費税等の会計処理

税込方式を採用しております。

2　基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。　（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産特定預金	2,000,000	0	0	2,000,000
小　　計	2,000,000	0	0	2,000,000
特定資産				
什器備品費積立金	4,706,990	300,040	0	5,007,030
会館建設準備積立金	10,718,645	600,090	0	11,318,735
70周年積立金	1,000,119	400,010	0	1,400,129
小　　計	16,425,754	1,300,140	0	17,725,894
合　　計	18,425,754	1,300,140	0	19,725,894

3　基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりであります。

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
基本財産				
基本財産特定預金	2,000,000	0	(2,000,000)	―
小　　計	2,000,000	0	(2,000,000)	
特定資産				
什器備品費積立金	5,007,030	0	(5,007,030)	―
会館建設準備積立金	11,318,735	0	(11,318,735)	―
75周年積立金	1,400,129	0	(1,400,129)	―
小　　計	17,725,894	0	17,725,894	―
合　　計	19,725,894	0	(19,725,894)	―

以　　上

『第２号議案』

一般社団法人　三重県診療放射線技師会定款の変更

定款変更の目的

・事務処理の簡素化
・メール理事会の開催

定款変更内容

改正案	現行
第６章　理事会 （構成） 第 27 条　この法人に理事会を置く。 ２　理事会は、すべての理事をもって構成する。 （権限） 第 28 条　理事会は、次の職務を行う。 (1) この法人の業務執行の決定 (2) 理事の職務の執行の監督 (3) 会長、副会長及び業務理事の選定及び解職 (招集) 第 29 条　理事会は、会長が招集する。 ２　会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、副会長が理事会を招集する。 ３　会議を招集する場合は、理事及び監事に対し、会議の目的たる事項及びその内容並びに日時及び場所を示して、理事会の５日前までに文書をもって通知しなければならない。 ４　監事は理事会に出席し、その職務に関して意見を述べることができる。 (議長) 第 30 条　理事会の議長は会長がこれにあたる。 （決議） 第 31 条　理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。	第６章　理事会 （構成） 第 27 条　この法人に理事会を置く。 ２　理事会は、すべての理事をもって構成する。 （権限） 第 28 条　理事会は、次の職務を行う。 (1) この法人の業務執行の決定 (2) 理事の職務の執行の監督 (3) 会長、副会長及び業務理事の選定及び解職 (招集) 第 29 条　理事会は、会長が招集する。 ２　会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、副会長が理事会を招集する。 ３　会議を招集する場合は、理事及び監事に対し、会議の目的たる事項及びその内容並びに日時及び場所を示して、理事会の５日前までに文書をもって通知しなければならない。 ４　監事は理事会に出席し、その職務に関して意見を述べることができる。 (議長) 第 30 条　理事会の議長は会長がこれにあたる。 （決議） 第 31 条　理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

(決議の省略) 第 32 条　理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき理事（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の**過半数が出席し、その全員**が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案について異議を述べたときを除く。）は、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。 （議事録） 第 33 条　理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。 　2　出席した**代表理事**及び監事は、前項の議事録に記名押印する。	(決議の省略) 第 32 条　理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき理事（当該事項について議決に加わることができるものに限る。）の**全員**が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたとき（監事が当該提案について異議を述べたときを除く。）は、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。 （議事録） 第 33 条　理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。 　2　出席した**理事**及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

附則 **この定款は、令和 5 年 5 月 28 日より施行する。**	

以上

『第３号議案』

会員及び会費に関する規程の改定

会員及び会費に関する規程改定の目的

・当会に実在しない規程名を使用しているので修正

・未納会費の扱いに関する表記

会員及び会費に関する規程変更内容

改正案	現行
	会員及び会費等に関する規程
	第１章　総則 (目的) 第１条　この規程は、一般社団法人三重県診療放射線技師会（以下、「この法人」という。）定款第３章の規程に基づき、この法人の会員の入会及び退会並びに会費等の納入に関し、必要な事項を定めるものとする。
	第２章　会員 （会員の定義） 第２条　この規程に定める会員とは、定款第５条に定められた会員をいう。
	第３章　会員歴 （会員年数） 第３条　三重県放射線技師会より引き続いて本会の会員になった者は、その期間を会員年数に加算する。
第４章　入会及び退会 （入会基準及び手続き） 第４条　この法人の正会員及び賛助会員として入会しようとする者は、理事会が別に定める**事務処理規程**に従って手続きを行う。 ２　名誉会員については、総会の承認を得た後、名誉会員証を与える。 （会員の資格の取得） 第５条　入会者は、会員の種別毎に、この法人の管理する会員名簿に登録する。 ２　入会時の届出事項に変更があった場合には、会長に報告しなければならない。 ３　会員名簿に登録された個人情報については、その公開の可否及び公開の範囲について、本人の意向	第４章　入会及び退会 （入会基準及び手続き） 第４条　この法人の正会員及び賛助会員として入会しようとする者は、理事会が別に定める**事務取扱規程**に従って手続きを行う。 ２　名誉会員については、総会の承認を得た後、名誉会員証を与える。 （会員の資格の取得） 第５条　入会者は、会員の種別毎に、この法人の管理する会員名簿に登録する。 ２　入会時の届出事項に変更があった場合には、会長に報告しなければならない。 ３　会員名簿に登録された個人情報については、その公開の可否及び公開の範囲について、本人の意向を十

を十分に尊重し、慎重に取り扱わなければならない。	分に尊重し、慎重に取り扱わなければならない。
（退会） 第６条　会員は、任意に退会することができる。 ２　前項の手続きは、定款第８条に従って事務処理規程に従い行う。但し、退会までの未納会費は本会への債務として残存する ３　定款第８条及び定款第 10 条により会員資格を喪失した場合、既に納入された会費は返納しない。また、会員資格喪失後は、会員としての資格称号を使用することはできない。	（退会） 第６条　会員は、任意に退会することができる。 ２　前項の手続きは、定款第８条に従って事務取扱規程に従い行う。 ３　定款第８条及び定款第 10 条により会員資格を喪失した場合、既に納入された会費は返納しない。また、会員資格喪失後は、会員としての資格称号を使用することはできない。
第５章　会費及び入会金 (会費及び入会金) 第７条　定款第７条による会費の年額は次の通りとし、入会金は徴収しない。 (1) 正会員の会費は 6,000 円とする。 (2) 賛助会員は、理事会が別に定める寄付金等の取り扱いに関する規程に従って、1 口 25,000 円（複数口の寄付も可）を寄付するものとする。 ２　会費及び入会金の納入の時期及び方法は別に定める事務処理規程による。	第５章　会費及び入会金 (会費及び入会金) 第７条　定款第７条による会費の年額は次の通りとし、入会金は徴収しない。 (1) 正会員の会費は 6,000 円とする。 (2) 賛助会員は、理事会が別に定める寄付金等の取り扱いに関する規程に従って、1 口 25,000 円（複数口の寄付も可）を寄付するものとする。 ２　会費及び入会金の納入の時期及び方法は別に定める事務取扱規程による。
	(会費の減免) 第８条　次の者は、会費の免除の取扱いを受けることができる。 (1) 名誉会員 (2) 会員年数 10 年以上で、満 65 歳以上の正会員 (3) 正会員で、特別な事情（失業、病気療養、長期出張、災害、育休等）がある場合は本人の申し出により、理事会の決議により、会費の分納又は免除をすることができる。
	第６章　補則 (改廃) 第９条　この規程の改廃は、総会の決議を経て行う。
	（附則） この規程は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第 121 条第１項において読み替えて準用する同法第 106 条第１項に定める一般法人の設立の登記の日から施行する。
この規定は、令和５年５月 28 日より施行する。	この規程は、平成 31 年　４月　１日から施行する。

□　編集後記

5月8日からCovid-19の分類が5類に引き下げられ、マスク着用は本人の意思によることとなりました。

元来、花粉症も全くないのでマスクを着用する習慣がなかったのですが、Covid-19の一件でマスク着用がほぼ顔パンツ状態となり、外すと周囲へのご迷惑や恥ずかしい雰囲気になって早や3年です。5類になってから、みなさん、マスク外してますか？最近は通勤電車やスーパーマーケットでもノーマスクのかたをチラホラ見かける様になりました。

先日、SnartNewsで『スーダンからのエボラウイルス拡散危機』の記事を見ました。またマスクに逆戻り？

三重県診療放射線技師会　299号　Vol.73　No.3

発行日　2023年5月26日
発行所　〒514-0032 三重県津市中央2-4　三重ビル 502号
一般社団法人　三重県診療放射線技師会
TEL/FAX　059-225-1491
ホームページ: https://mieart.jp
facebookページ : https://facebook.com/mieprefart
E-mail : contact@mieart.jp
発行人　界外　忠之
制　作　三重県診療放射線技師会編集班